

第3回仙台市長杯仙台市ボッチャ大会 各区予選会

競技要領（ルール・試合の進め方）【修正版】

競技規則

- (1) 全国障害者スポーツ大会のボッチャルールを準用するほか、この要領の定めるところにより実施します。

競技方法

- (1) コートの大きさは通常の半分の6m×3mのハーフコートを用い、スローイングボックスは2つに分けて使用。
- (2) 1チーム3名のチーム戦とし、試合ごとに各チームは選手3名を選出し対戦します。
- (3) 予選リーグの組み合わせは各組3～4チームによるリーグ戦を実施し、その後、各リーグ1位のチームによる決勝トーナメント（又は決勝リーグ戦）を行います。
- (4) 試合は2エンド（先攻後攻を交互に1回ずつ）を行い、2エンドの総得点で勝敗を決定。同点の場合は、予選リーグ、決勝トーナメント（又は決勝リーグ戦）ともに、タイブレイク（決戦投球）で勝敗を決定します。

※タイブレイク（ファイナルショット制度）について

- ・コート中央のクロスにジャックボールを配置し1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球したチームを勝者とします。
 - ・タイブレイクの得点は総得点に含まれません。
- (5) 先攻後攻はコイントスで決定（先攻が赤ボール、後攻が青ボール）。ジャックボールの投球順序は、第1エンドは先攻（赤ボール）チーム、第2エンドは後攻（青ボール）チームが行います。
- (6) 投球は、自陣の中であればどこから投げてもOKです。投球順序も自由です。ただし、1エンド内でできる投球は一人2球。一人が3球などの投球はできません。
- (7) 各リーグの順位は、以下の順で決定する。
- ① 勝ち数が多いチーム
 - ② 同勝数の場合は直接対決で勝ったチーム
 - ③ ①②で決まらない場合は、得失点差の多いチーム
 - ④ ③で決まらない場合は、総得点の多いチーム
 - ⑤ ①～④で決定しない場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で決定する。
- (8) 相手チームが全ての投球を終え、自分のチームが有利な局面となった場合は、「投球をしない」こともできます。この場合は、審判に宣言し、残ったボールをボックス前に置いてください。

棄権について

- (1) 受付時間内に受付をしなかったチームは棄権とみなします。棄権となったチームの対戦相手は、不戦勝とし、3-0で勝利したものとします。
- (2) 試合開始時点で3名未満となった場合は、オープン参加扱とし、対戦相手が3-0で勝利したものとします。

(3) 試合開始後に3名未満となった場合も同様に、オープン参加扱いとします。

ファール（違反行為）について

(1) 【一般の部】以下の行為をしたと審判が認めた場合、ファールとなり、投球したボールはリトラクション（ボール除去）となりますのでご注意ください。

- ・ ラインを踏んで投球した場合
- ・ 選手が同時に投球した場合
- ・ 審判の指示がある前（自分の色のパドルが示される前）に投球した場合
- ・ ランプを使用する選手のランプオペレーターが、試合中のコートを見た場合や試合に介入していると審判が判断した場合

なお、投球ボールが、有効ボール当たり盤面が変わってしまった場合は、①審判で協議し可能な限り現状復帰します。② ①が不可の場合はエンドをやり直します。

(2) 【小学生の部】違反行為があった場合は注意のみとし試合を継続します。ファールになりそうな場合、投球前に審判より声かけを行います。なるべくファールにならないようご注意ください。

競技時間について（持ち時間制）

(1) 円滑な大会運営のため、持ち時間制を採用し、各チームの持ち時間は1エンド3分間とします。

ランプを使用する選手がいるチーム、視覚障害のある選手がいるチームは、5分間（状況により応相談）とします。各チームともご協力をお願いします。

(2) 試合中は、持ち時間内において、コート内に入りボールの状況を間近で確認することができます。コート内では、ボールに触れて動かしてしまわないよう注意してください。

選手・サポーター（介助者）について

(1) エントリーメンバーに変更が出る場合は、大会当日、受付にて変更届を提出してください。（他の参加チームや応援者などからメンバーを補充してもOKですが、一人の方が複数のチームに所属することはできません）。受付後は、人数やメンバーの変更は不可とします。

なお、3名未満となった場合は、オープン参加として扱います。

(2) 試合中、同エンド内及びエンド間での選手交代は不可とします。試合ごとの交代は可とします。

(3) 介助やサポートが必要な場合は、一緒にコートに入ってサポートができます（小学生の部の場合、助言もOK）。※介助以外でサポートする場合は、ボックスの後ろで行ってください。エントリーメンバー以外の介助者やサポーターは「介助ビブス」の着用をお願いします。

(4) エントリーメンバーの中に、選手兼介助者がいる場合、「介助ビブス」の着用はしないが、試合開始前に選手兼介助者である旨を審判に伝えてください。

用具について

(1) 大会で使用するボールは大会事務局で用意したものを使用します。（マイボールの使用は不可）

(2) ランプが必要なチームには貸出を行います。

練習時間について

- (1) 各予選会のコート開放は9:00～ガイダンス開始までの間、昼休憩時間に開放します。
- (2) 各試合前に2分間のウォーミングアップを設けます。ウォーミングアップは、2分間経過、または全てのボールの投球が終わった時点で終了となります。その時、ジャックボールはコート中央に置いて実施となります。また、両チームから希望がない場合は実施しません。

試合方法について

『一般の部』

【宮城野区・若林区・泉区・青葉区】

4チームによる予選リーグ戦を行い、その後、各リーグの1位による決勝リーグを実施

【太白区】

4チームによる予選リーグ戦を行い、その後、各リーグの1位による決勝トーナメントを実施

『小学生の部』

【若林区】【青葉区】

4チームによる予選リーグ戦を実施（決勝トーナメントは行いません）

【太白区】

4チームによる予選リーグ戦を行い、その後、各リーグ1位・2位による決勝トーナメントを実施

決勝大会進出条件

『一般の部』 ➡ 全28チームが3月2日決勝大会へ出場

【決勝大会進出可能チーム数】 ※各区予選会の出場チーム数により変動します。

【宮城野区】6チーム 【若林区】5チーム 【泉区】6チーム

【青葉区】5チーム 【太白区】4チーム

【条件】

- (1) 各区予選会の予選リーグでそれぞれ1位になり、決勝トーナメントに進出した全26チーム
- (2) 各区予選会の予選リーグでそれぞれ2位となったチーム（5区合わせて全26チーム）の中から、抽選で選ばれた1チーム
- (3) 昨年度の決勝大会優勝チーム（但し、優勝チームが辞退した場合、次位のチームが繰上参加対象となります。）

『小学生の部』 ➡ 全9チームが3月2日決勝大会へ出場

【太白区・若林区・青葉区】

・各区予選会の予選リーグで1・2位となったチーム

【その他】

・昨年度の決勝大会優勝チーム